

共通テスト国語の利用方法について（一般入試）

2019.09.30

調査対象：国立（82校）、公立（91校）※うち、国際教養大学は国語についての2021年度入試情報不明。
不明の1校以外は全校が共通テスト国語を利用。

（以下、学科によって利用方法が違う大学を含むためのべ数）

共通テスト国語の記述を利用

利用する	168校
利用しない	3校 ※青森公立大学、三重県立看護大学、宮崎県立看護大学（都道府県順）
不明	3校

共通テスト国語の記述の利用方法

- ・ 結果を点数化し、マークシートの得点に加点 117校
- ・ 点数化することとはせず、合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、記述の段階別表示を用いる 3校
 ※東北大学、福井県立大学、京都工芸繊維大学（都道府県順）
- ・ 利用方法を発表していない 48校

加点利用の場合、国語の得点のうち記述の点数が締める割合

- ・ 配点未公表 83校
- ・ 国語全体の満点を占める割合を20%とする（4：1） 22校
- ・ 国語全体の満点を占める割合を10%とする（9：1） 6校
- ・ 200+40を200点に圧縮（10：2） 4校
- ・ 200+20を200点に圧縮（10：1） 2校
- ※うち、加点の段階表を発表している大学 11校